

1 どういう性格・パーソナリティか

| 型 | 性格の側面 | | 弱 | 強 | 指数 |
|-----|-------|---------|---|---|----|
| 思索型 | 内閉性 | 社交意識が低い | | | 58 |
| | ● 客観性 | 思考的思慮深い | | | 85 |
| 活動型 | 身体性 | 機敏な・気軽な | | | 46 |
| | 気分性 | 感情のまま行動 | | | 38 |
| 努力型 | 持続性 | 几帳面・忍耐力 | | | 50 |
| | 規則性 | 常識的・順法的 | | | 44 |
| 積極型 | 競争性 | 勝気な・積極的 | | | 61 |
| | 自尊心 | 気ぐらいが高い | | | 50 |
| 自制型 | 慎重性 | 見通しをつける | | | 57 |
| | 弱気さ | 取越苦労・遠慮 | | | 33 |

■この人の中心性格は「思索・客観性」および「積極・競争性」であるが、「思索・内閉性」や「自制・慎重性」といった側面も本人は意識している。

●「思索・客観性」及び「積極・競争性」の人のパーソナリティスケッチ

社会に対する関心があり、周囲への配慮もある。しかし、本来の内面意識の中では、世間や周りの環境に流されることは少なく、自分は自分としての考えが強い。他人からの押し付けがましさは望むところではない。交友関係などは、たくさんの仲間関係を広げていくというより、自己の世界や独自の価値観を理解してくれる友人を大切にす。そして、自分も含めて環境をあるがままに客観的にとらえようとす傾向があり、物事をキチンと把握しようとする。そうしたことからか、行動や考えには悪意はないのだが、現実的かつ冷静な発言が多いため対人関係で、衝突してしまう可能性があるかも知れない。また、積極性があり、競争心が旺盛である。他人と競合する場面になると、実力以上の成果をあげることもある。精神的には独立していて、他人に依存することを嫌う。自己中心性や他罰的傾向も多少みられるが、思いあがった独善性というほどではない。人よりも優れたことをして、それをいかに効果的に世間に公開するかといったところに関心がある。

●もう一方の性格特性

精神的には安定していて、不安症・劣等感といった神経症とは現在は縁がない。表面的にもオドオドしたり、イライラした感じは見られず、行動や発言にはしかるべき自分なりの理由をもってている。暗い影のようなものがなく、明るい。

2 どういう関心事・興味領域を持っているか

| 興味の方向性 | 弱 | 強 | 指数 |
|--------|---|---|----|
| 日常周辺事型 | | | 56 |
| 客観・科学型 | | | 43 |
| 社会・経済型 | | | 46 |
| 心理・情緒型 | | | 35 |
| 審美・芸術型 | | | 58 |

人の心理動向や情緒的な事に対して、あまり関心がない。

信頼係数



回答に多少あいまいなところもあるが、おおよその部分が信頼できる診断結果である。

3 基礎的な職場場面での社会性

| 診断項目 | 弱 | 強 | 指数 |
|---------|---|---|----|
| 積極性 | | | 50 |
| 協調性 | | | 48 |
| 責任感 | | | 55 |
| 自己信頼性 | | | 67 |
| 指導性 | | | 62 |
| 共感性 | | | 36 |
| 感情安定性 | | | 65 |
| 従順性 | | | 32 |
| 自主性 | | | 62 |
| モトリアム傾向 | | | 44 |

自信があるため、大きな目的をクリアーすることもある。人に頼りにされ、皆をまとめるリーダー的な役割をする。独自の思考が強く、仲間と意思の疎通を欠くことがある。比較的気持ちは安定していて、多少の事では動揺しない。強く命令されたり注意されると、相手に対し反感をもつ。自己の決断において、自発的に仕事をする事ができる。

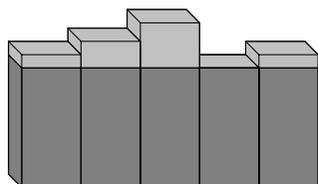
4 どういうことに意欲・ヤル気をだすか

| 意欲の側面 | 弱 | 強 | 指数 |
|-------|---|---|----|
| 達成 欲求 | | | 45 |
| 自律 欲求 | | | 63 |
| 求知 欲求 | | | 50 |
| 危機 耐性 | | | 65 |
| 勤労 意欲 | | | 50 |
| 顕示 欲求 | | | 63 |
| 支配 欲求 | | | 60 |
| 親和 欲求 | | | 48 |
| 秩序 欲求 | | | 47 |
| 物質的欲望 | | | 50 |

人に頼ったりするより、精神的に独立し自力で生きたい。全面的な自我崩落にならない、危機対応力を備えている。環境の中で実力を発揮し、それを皆に認めてもらいたい。上下関係をハッキリさせ、影響力ある関係を形成したい。

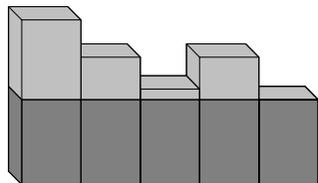
■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「苦勞を乗越え、成長したい」系統の欲求群となっている。逆に「より高い水準に自分をしたい」系統の欲求群には淡泊な反応である。

【仕事に立ち向かう姿勢】



- 0 1 : 積極性
- 0 2 : 責任感
- 0 3 : 自主性
- 0 4 : 達成意欲
- 0 5 : 勤労意欲

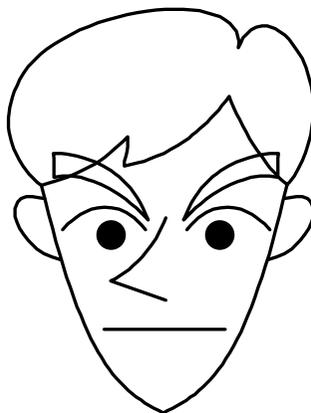
【組織だって仕事を進める能力】



- 0 1 : 指導性
- 0 2 : 協調性
- 0 3 : 共感性
- 0 4 : 親和性
- 0 5 : 従順性

【心理要素イメージ】

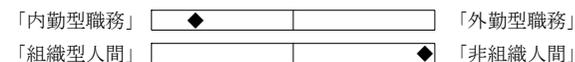
眉の太さ：指導性 眉の傾き：従順性
 瞳の直径：達成欲求 目の傾き：達成欲求+求知欲求
 鼻の高さ：顕示欲求 口の形状：親和欲求+協調性
 顔の輪郭：性格類型
 逆三角顔 = 思索型 丸顔 = 活動型
 エラ顔 = 積極型 角顔 = 努力型
 細長顔 = 自制型



【判定結果A】予測推定値（見所）

| | | |
|-------------------|--|----|
| (1) 一般的職場状況での可能性 | | 38 |
| (2) 海外など精神力の必要な職務 | | 54 |
| (3) 足腰のよさが武器になる職務 | | 51 |
| (4) 集中力、緻密さの必要な職務 | | 59 |
| (5) 標準化された仕事や工場労働 | | 43 |

【判定結果B】当人の傾向



【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

- (1) 「最適」 研究的、探索的な仕事や活動の領域
- (2) 「適切」 音楽、創作、文芸など芸術的な仕事や活動
- (3) 「適切」 企画、組織の運営、経営管理のような仕事
- (4) 「努力」 規則や慣習に従った行動、事務的な仕事
- (5) 「努力」 営業など対人的接触をとまなう仕事
- (6) 「努力」 物を対象とする、具体的で実際的な仕事

【判定結果D】配置適性 1

《適性の高い順》

- (1) 「適切」 企画 管理者
- (2) 「適切」 基礎研究管理者
- (3) 「適切」 企画 専任者
- (4) 「適切」 基礎 研究者
- (5) 「適切」 人事 管理者
- (6) 「適切」 研究 管理者

《低い順》

- (1) 「努力」 営 繕 専任者
- (2) 「適度」 秘 書 専任者
- (3) 「適度」 営 業 専任者
- (4) 「適度」 広 報 専任者
- (5) 「適度」 営 業 管 理 者

【判定結果E】配置適性 2

- (1) 「最適」 調査分析
- (2) 「適切」 編集校正
- (3) 「適切」 新規事業開発
- (4) 「適切」 商品企画・開発
- (5) 「適切」 研究開発
- (6) 「適切」 経営企画

- (1) 「努力」 受注窓口
- (2) 「努力」 秘 書
- (3) 「小適」 営 業 アシスト
- (4) 「小適」 人 事
- (5) 「小適」 倉 庫

